



バチさばきも鮮やかに——向かって左から大太鼓の安藤高也君(中3)、締太鼓の平井真由美さん(高3)・村松みき子さん(高3)。笛は鈴木時直氏、鉦は杉山錦五氏、石渡金次郎氏。

伝統ある六郷ばやし復活！

テケテンテン、ドコ、テケ、ドコ、テン、ドコドン——お祭りの日、脇参道の棧敷から威勢のいい六郷ばやしの流れ、参詣人が思わず足を止める光景が見られました。

今春、六郷神社崇敬会がなんとか若い人に六郷ばやしの伝統を受け継いでもらいたいと、希望者を募集したところ、小・中・高生など男女20数人の申し込みがありました。

指導者は、地元の清水清一氏(80)を中心に、鈴木時直、石渡金次郎、早川和広、杉山錦五のみなさん。さっそく六郷幼稚園の教室を借りて、締太鼓と大太鼓の叩き方から練習をはじめ、お祭りまでに「打ち込み・屋台ばやし・鎌倉・仁羽」の4曲をマスターしたので、若人の初演奏となったわけです。

お祭り後も毎月1回、第4日曜日の夜7時から8時半まで練習を続け、新しい曲目に挑戦。むずかしい笛と鉦の訓練はこれからですが、みんな上達が早く、とても意欲的で、「五人ばやし」を結成できるのも、そう遠くはないでしょう。

新しい年の躍進に期待したいものです。

初詣

崇敬会会員の昇殿参拝

平成6年1月3日 午前10時(第1回)
午前11時(第2回)

1月3日の午前10時と11時の2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこない、神社から神酒と特別な御札が授与されます。

崇敬会では、新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお境内には、甘酒進上の席も用意いたします。多数ご参拝ください。

社務所が改築されます

来春着工の予定

現在の社務所は昭和8年に建てられたもので、外見はともかく内部の老朽化が著しく、さまざまな不便支障が生じてきたため、神社ではこれを改築することになりました。

新しい社務所は、来春着工の予定で、鉄筋コンクリート造り、一部2階建て、御社殿の東側に建設されます。

これによって神社の結構は、さらに整うことでしょう。

六郷神社獅子舞の映像記録完成

すばらしい出来栄え

大田区教育委員会が2年がかりで撮影した獅子舞の映像記録が完成しました。

11月11日夜、六郷文化センターでの試写会には、出演の少年少女や父兄も招かれ、すばらしい出来栄えに大喜び、盛んな拍手を送っていました。

昨年は技能伝承用として、神楽殿での奉納演舞の全曲を45分のビデオに収録。

今年は広く一般に紹介す

るため、1か月にわたる練習風景から、祭礼当日の道行(行列を組んで街を練り歩く)や、宮本町会の神酒所前での演舞などが、16ミリ映画20分にまとめられました。製作は毎日映画社が担当。

映像貸し出しの問い合わせは教育委員会文化財係へ。電話3773・5111



今年「もみじ」を献木、添釜には詩の吟詠も

創立記念日の11月3日は、雲ひとつない快晴に恵まれ、午前10時30分から忠魂碑前で献木式が行われました。

平成2年に「しだれ梅」を、3・4年に「しだれ桜」を献木しましたので、今年は姿のいい「もみじ」を植樹。

引き続き11時から神楽殿前で、大日本茶道協会のみなさんの奉仕により添釜（野点）が始まりました。ポスターによるPR



ポスターでもPR (池田仙三郎画伯)

の効果もあってか、茶席が空くのを待つ人が続く、といった盛況でした。

とくに今回は、六郷岳精会のみなさんの特別参加があり、お点前の間に、詩吟や和歌の朗詠が行われて、文化の日にふさわしい催事場となりました。

また雑色の江島屋呉服店さんからは、茶席用の緋毛せん六枚、青毛せん一枚をご寄付いただきました。

当日、ご協力をいただいた方のお名前は次のとおりです。(順不同)

★大日本茶道協会

原田朗仙	吉崎朗抄	中村朗萌
大島朗珠	林部朗香	高橋高子
佐藤美保子		

★六郷岳精会

奥村 愛	福島敏恵	前嶋唯七
前嶋規江	平林俊子	綱島栄子
神子島てる	蒲生悦郎	蒲生ヤス
小宮久永	井上富子	

10月30日に予定した野鳥観察会は、雨天のため残念ながら中止しました。



「ガスの科学館」の見学を終えて

東京「新名所」めぐり

9月18日(土)快晴。バス1台に50名同乗、東京の「新名所」レインボーブリッジを渡って、両国の江戸東京博物館を見学。ふたたびレインボーブリッジを渡り、豊洲にあるガスの科学館を見学。

おもしろく、楽しく、歴史と科学の認識を新たにし、東京港の大バノラマに、今度は美しい夜景を見たい、との思いをそらせる一日でした。

下雑色の八幡様

川田賢治

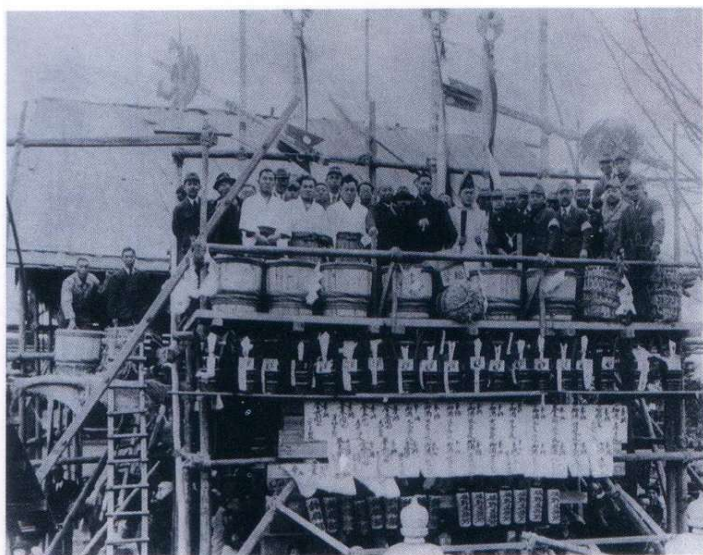
武蔵国荏原郡雑色村が東京府荏原郡六郷村大字雑色となり、昭和7年、東京市蒲田区雑色町に変わりました。この雑色町は、今の東六郷二丁目と南六郷一・二・三丁目に相当します。

昔は国道寄りの雑色を「宿雑色」、多摩川沿いを「下雑色」と称していました。この下雑色の鎮守が南六郷三―3―6にあ

る八幡神社です。

現在の社殿は、昭和15年秋にワラぶき屋根の旧社殿を建て替えたもので、間口2間、奥行3間、瓦ぶきの総檜入母屋造りです。当時の写真を見ると、じつに盛大な上棟式が挙行され、「投げ餅」も行われた様子がうかがえます。

昭和20年4月15日の空襲で、



昭和15年の盛大な上棟式 (提供・瀬谷角太郎氏)

六郷一帯は焼野原になりましたが、さいわい社殿は焼失をまぬかれました。しかし半世紀を経て、雨漏りで土台が朽ち傾いてきたため、今年になって修理が行われました。

私が少年時代には、広い境内で大勢の子どもたちが日の暮れるまで遊びほうけていました。また、土俵をつくって、町内

の相撲大会が開かれたこともあります。

下雑色にたくさんさんの梨畑や桃畑があったころは、収穫が終わると、境内に舞台を造り、素人芝居を奉納したそうです。なんでも「義経千本桜」が得意な出し物で、村中総出で準備し、練習し、打ち興じたと聞いています。お祭りはもちろん、豊作祈願、雨乞い、お日待ちなど、何をするのも、この八幡様あつての行事だったようです。

戦後「みなさん会」が結成され、後に「南六郷三丁目町会」と改名、昭和38年2月、念願の社務所が完成しました。また、有志の人たちによって植樹の奉納があり、境内の整備も進みました。

例祭日は、昔から9月15日、お祭りは六郷神社のお祭りと一緒に、神社の維持管理は氏子の人びとが継承しています。6月の祭礼、2月の初午、町会や老人会などの行事に社務所が利用され、八幡様は今なおこの地域の中心をなしています。

◆新入会員紹介

南二・渡辺鉄郎、加藤博 南三・伊藤金治、川田喜美子 東二・川田良治 東三・平野三男、山口八重子、高齋須美子 仲一・宮田寅男 羽田二・安田幸信 西蒲田六・田中一吉 南蒲田・経田ミセ

◆こども流鏑馬

1月7日午後1時より六郷神社で行われます。東京都指定の無形民俗文化財です。(雨天決行)

◆第17回六郷のどんと焼き

1月7日午後1時30分点火。六郷橋の下流300mの河原。主催・六郷の昔を語る会 後援・大田区教育委員会 (雨天決行)

◆木の香も新しい伊勢神宮初詣と明治村見学の旅

1月22・23・24日に実施予定。

発行 六郷神社崇敬会

〒144 大田区東六郷三―11―18 六郷神社社務所内

電話 〇三―三七三一―二八八九

振替 東京九―一―三三五三

編集 平野順治